

1 検討調査の背景と目的

武蔵小杉以南の地域では、近年、土地利用の転換が進展し、企業の研究開発機能の集積や大規模な都市型住宅の形成が進むなど、地域を取り巻く環境が急激に変化しております。

こうした状況の中、鉄道による地域分断や踏切による交通渋滞等の課題に対しましては、駅周辺まちづくりを含めた総合的観点から対策を検討することが不可欠となるため、総合計画に位置付けた京急大師線連続立体交差事業の「段階的整備区間以降の整備方針の調査・検討」及び J R 南武線連続立体交差事業の「事業実施に向けた調査・検討」の取組みについて、都市機能の強化に資する今後の整備のあり方を総合的に検討する必要があります。

検討は、調査委託とし、学識経験者により構成する「川崎南部地域交通基盤あり方検討委員会」を設置の上、検討結果を「今後の南部地域交通基盤のあり方」として取りまとめることといたしました。

2 検討対象事業

- 京急大師線連続立体交差事業（京急川崎～小島新田）
- J R 南武線連続立体交差事業（尻手～武蔵小杉）

3 検討委員会委員

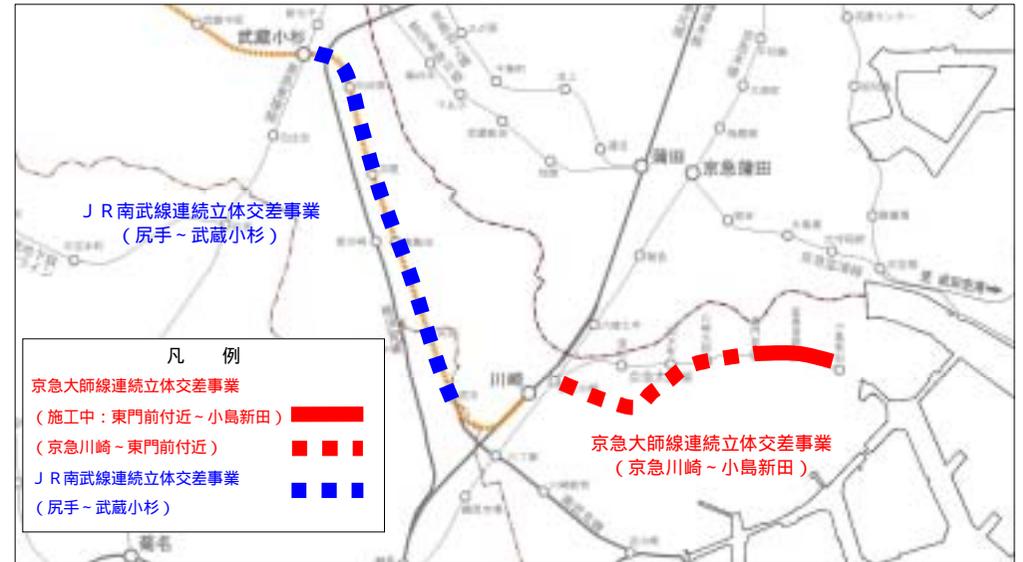
- 委員長 大西 隆 東京大学大学院教授（都市計画）
- 委員 岸井 隆幸 日本大学教授（都市交通）
- 委員 高千穂安長 玉川大学教授（経営学）
- 委員 瀬田 史彦 大阪市立大学大学院准教授（都市政策）

4 検討委員会の日程と主な議題

検討委員会の日程と主な議題

第 1 回検討委員会 (5/27)	[議題] 検討対象事業に係る現状と課題 ・京急大師線連続立体交差事業 ・ J R 南武線連続立体交差計画
第 2 回検討委員会 (7/24)	[議題] 京急大師線連続立体交差事業の整備効果 ・段階的整備区間の整備効果 ・段階的整備区間以降の整備の方向性 ・段階的整備区間以降の整備パターン・比較検討
第 3 回検討委員会 (8/26)	[議題] J R 南武線連続立体交差事業の整備効果 ・課題解決に向けた連続立体交差化の推進 ・連続立体交差の効果を最大限に引き出す取組み
第 4 回検討委員会 (10/28)	[議題] 川崎南部地域の交通基盤のあり方について ・京急大師線連続立体交差事業の整備方針 ・ J R 南武線連続立体交差事業の取組みの方向性

検討対象事業位置図



5 今後の取組み

検討調査結果による「今後の南部地域交通基盤のあり方」提案に基づき、京急大師線につきましては、事業の具体化に向けた国等関係機関との調整を図るとともに市の整備方針を決定いたします。

また、J R 南武線につきましては、国・横浜市・鉄道事業者との連続立体交差事業実施に向けた調整を早期に進めます。

検討経過と今後の取組み

